

89-322



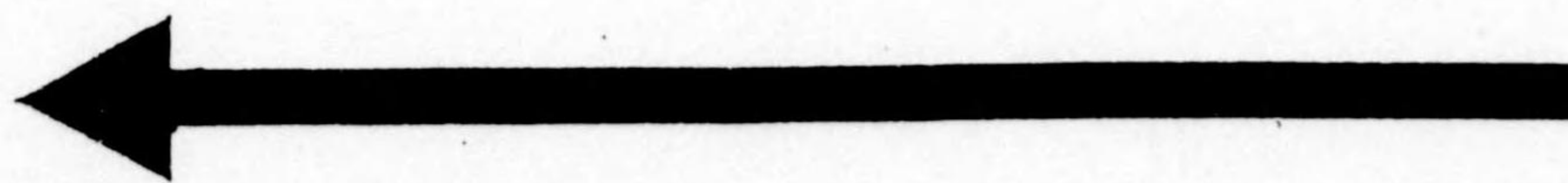
\*1200600308089\*

89

322



始



日本鑛山協會資料第一輯

鑛業災害ニ依ル死傷統計

日本鑛山協會



鑛業災害ニ依ル死傷統計



寄贈本

例 言

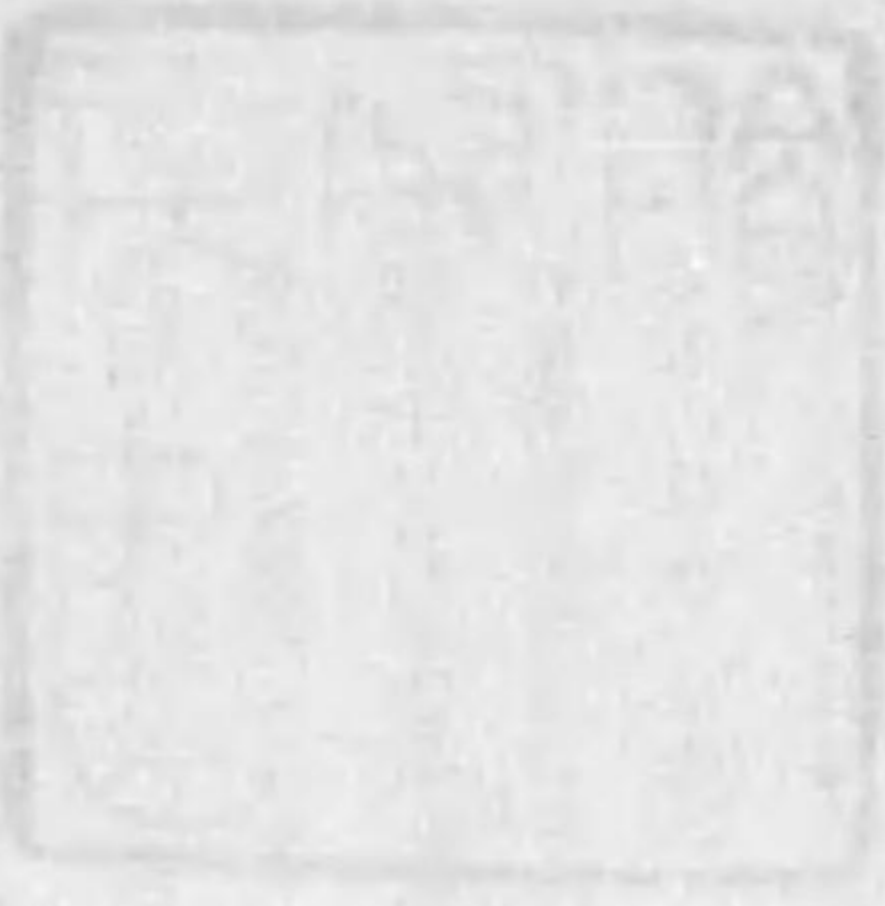
寄贈本

本邦に於て鑛業災害死傷統計として業務上の災害回数及死傷者数を全国的に集計せるは明治二十六年にして同年以降明治三十一年迄は鑛種別（金屬、石炭、其他非金屬山）による分類なく明治三十二年より此分類を見たり。

本統計は此等の資料により明治二十六年以降昭和二年迄過去三十五年間の災害回数、死傷者数を集録せるものなるも此間負傷者の負傷の程度即ち重傷及輕傷の限界及罹災者の範圍に付き改變あり。其變遷を見るに明治二十六年より大正元年迄の統計に表はれたる死亡者は即死者に限り、重傷者及輕傷者は是を區別するに一定の基準を定めず、鑛山當事者の認定に依りしものにして罹災者の範圍も鑛夫及其他とし係員其他の従業員をも含めるものとせり。然るに大正二年より大正五年に至る期間に在りては重傷とは頭、四肢、視器、聽器其他の部分の永久的損傷にして豫後從前の業務に堪へざるもの、若は三十日以上休業を要するもの、輕傷とは前二項に該當せざるものとなし、罹災者の範圍は從前同様とせるも大正五年現行鑛業警察規則公布により、重傷とは頭、四肢、視器、聽器其他の部分の負傷にして從來の勞役に従事すること能はざるもの及其の見込のもの並三十日以上醫療を受け休業したるもの及其見込のものを謂ひ、輕傷とは三日以上醫療を受け休業したるもの及其の見込のものを謂ふこととし、罹災者の範圍は鑛夫に限り更に是を男女に別ち年齢により十五歳未滿、二十歳未滿、二十歳以上に細別し、鑛種別も新に石油山なる一欄を加へ、金屬山、石炭山、石油山、其他非金屬山の四種として今日に及べり。如斯なるを以て大正五年以前のものとは大正六年以後のものとは其内容稍異なるものとす。

本統計に掲ぐる鑛夫数は各年六月末日現在の在籍人員にして鑛夫延工数は各年十二月末日の集計に依る、而して鑛夫數に對する災害死傷千分率及延工數に對する災害死傷萬分率を算出せるも上記の理由により大正五年以前の罹災者として計上せる數には係員其他の従業員の分を包含せるも、鑛夫以外の従業員の罹災數は各年僅少なるを以て大體に於て是を鑛夫

の死傷率と見做し得べし。  
 尙ほ本統計に掲ぐる災害数には砂鑛法により稼行する砂鑛々區に關するものを含まず、從つて鑛夫數及鑛夫延工數に就ても砂鑛々區に關するものを除去し、又大正十一年に於ける災害統計中災害數に關する數字には震火災により資料を燒失せし東京鑛山監督局管内のものを缺けり。



## 目次

一 災害死傷累年比較……………	一
二 鑛種別災害死傷累年比較……………	一
三 十年間平均鑛種別災害死傷比較……………	二
四 坑内外別災害死傷比較……………	三
五 事由別災害死傷比較……………	四
六 事由別中主なる災害死傷累年比較……………	五
七 石炭山に於ける出炭百萬應當死傷率累年比較……………	五
八 本邦と諸外國石炭山に於ける災害死傷比較……………	六

### 一 災害死傷累年比較 (第一表)

明治二十六年以降各年鑛山に發生せる災害にして死傷者を生ぜるもの回数、死傷人員は第一表に示す如くにして、明治三十年に於ては僅かに回数二十三回、死亡數十五人、負傷數二十八人なりしもの十年後には一萬三千二百九十一回、死亡數五百八十一人、負傷數一萬三千四百九人となり、更に六年後の大正二年には急激に増加して回数十三萬四千四百五十五回、死亡數七百三十人、負傷數十三萬四千七百八十二人を示し以後逐年漸増して大正六年には十六萬四千七百二十四回、死亡數千二百四十九人、負傷數十六萬六千三百六十七人となり、歐洲大戰の影響を受け鑛業が最盛時期に達せる大正八年には實に二十萬九千七百二十八回、死亡數九百三十人、負傷數二十一萬八千六百一人なる最大數を示せり。

今昭和元年度の數字に基き、假りに鑛山の稼行日數を三百日とせば稼行一日毎に全國の鑛山にて合計五百二十八回の災害發生し、死者二人七分、負傷者五百二十八人を出しつゝある割合に當れり。

以上の如く災害死傷實數は大正八、九年に於て最大にして、其以後各年稍減少の傾向を示すも、竊て鑛夫實數及鑛夫延工數に對する罹災者の率を見るに、大正八、九年に於けるものよりも其以後にありては却つて増大せるは、鑛業不況時期に入りて鑛夫數及鑛夫延工數の減少せるに拘らず災害罹災者數遞減の程度著しからざるに因るものにして、特に考慮を要する問題たるべし。昭和元年に至り幾分罹災率の低下せるを示せるは、近年各地に於て災害防止に關する各種施設の行はるゝに至れる結果ならんか。

### 二 鑛種別災害死傷累年比較 (第二表)

鑛山に於ける災害を其鑛種に従ひ金屬山、石炭山、石油山及其他の非金屬山に大別して其發生回数、罹災者數、鑛夫千

人に對する死傷率、鑛夫延工數一萬工に對する死傷率を示せるものを第二表とす。

此等の細別表に就て見るに石油山及其他の非金屬山の罹災率は必ずしも第一表に述ぶるが如き趨向を辿らざるも石炭山にありては明かに其遞増を示し、金屬山に於ても大體増加の跡を示せり。蓋し前二者は之を後二者に比し、其實數に於て著しく少きか故に第一表の結果は大體後二者に依りて現はされたるものと見るべし。

### 三 十年間平均鑛種別災害死傷比較 (第三表)

大正六年より昭和元年に至る十年間に於ける平均一ヶ年災害數を鑛山鑛種別に從ひ比較したるものを第三表とす。

本表に據れば災害死傷實數は石炭山に於て最も多く、死亡數、重傷數、輕傷數共何れも總數の八割八分内外を占め、金屬山に於けるものは總數の約一割内外に當り、石油山及其他非金屬山に於けるものは何れも一分五厘以下の數字を示すに過ぎず。災害死傷者率に就て見るに石炭山を以て第一位とし、大體金屬山のもの約其二分の一に當り、石油山及其他の非金屬山のものには更に低位なることを示せるが、尙其細別に於て死者、重輕傷者の千分率及延工數に對する死者及重傷者率は石炭山のものは何れも金屬山のもの約二倍なるに拘らず、石炭山の輕傷者の延工數に對する率は金屬山のそれに比して約三倍に上れることを示せると石油山の死傷者率の内重傷者の率のみは金屬山のものに匹敵せることを示せるは稍注目すべき點にして、石炭山には比較的輕傷者を多く出し、之に反して石油山には割合に多くの重傷者を出せるものと見ることを得べし。

尙之を詳述すれば石炭山に於ける死傷率を基準とし、他鑛種の鑛山のもの之に對比するに鑛夫千人に對する死亡率に付ては金屬山は其四割七分、石油山は三分五厘、其他非金屬山は三分六厘、重傷率に付ては金屬山は五割四分、石油山は五割七分、其他非金屬山は四割一分、輕傷率に付ては金屬山は四割三分、石油山は一割五分、其他非金屬山は二割八分に

當る。又鑛夫延工數一萬工當り死傷率を同様比較するに石炭山に於けるものを各一とすれば、死亡率に付ては金屬山は其四割一分、石油山は二割五分、其他非金屬山は三割三分、重傷率に付ては金屬山は四割七分、石油山は四割六分、其他非金屬山は四割四分、輕傷率に付ては金屬山は三割七分、石油山は一割二分、其他非金屬山は二割九分に當る。

### 四 坑内外別災害死傷比較 (第四表及第五表)

鑛山に於ける災害は事業の性質上坑外よりも坑内に於て頻發するは當然なるが兩者の比較は第四表の如し。

之に依れば坑内に於ける災害實數は最近十年間の平均に付て見るに、鑛山に於ける災害總數に對し回数に於ては其八割六分、死亡數は九割、重傷數及輕傷數は共に八割六分を占め、坑外に於ける災害數は僅に總數の一割乃至一割四分に當るに過ぎず。而して鑛夫實數及延工數の坑内外別從業割合は大約六と四との比なり。

鑛夫千人に對する死傷率を比較するに、坑内災害死亡率は坑外のものに比し其約五倍なることを示し、重傷及輕傷率は坑外のものに比し共に約三倍に當り、延工數一萬工に對する死傷率を見るに坑内に於ける災害死亡率は坑外に於けるものの七倍、重傷及輕傷率は坑外のものに比し共に約四倍なることを示せり。

更に災害死傷數を鑛種別に比較するに (第五表) 坑内にありては石炭山に於けるもの九割以上を占め、坑外に於けるものに就ても石炭山は五割乃至六割を占め、鑛夫數又は延工數に對する災害死傷率に於ても石炭山は他よりも著しく高率なることを示せり。蓋し第六表に掲ぐる災害事由別に就て考査すれば石炭山が他の鑛山に比して災害の多き原因も自ら明かなる所あるべし。

大正六年より昭和元年に至る十ヶ年間累年の坑内外別及鑛種別による比較は第五表の如し、

## 五 事由別災害死傷比較 (第六表)

現行鑛夫死傷者月報様式の事由別に従ひ大正六年より昭和元年迄十年間の災害數を集計し一年間に對する平均數を算出せるものを第六表とす。

第六表の(一)に付て見るが如く鑛山に於ける災害事由中回数並に死傷數に於て最も多きは落磐にして、其回数、重傷數、輕傷數は各總數の三割五分餘に當り、其死亡數に至りては總數の四割三分を占む。是に亞ぐは坑内に於ける坑車の爲にして一割内外を示し、其他坑車逸走又は脱線、坑外鑛車又は架空索道の爲、坑外器械の爲等を主なるものとす。而して死亡數に付て見るときは落磐に亞ぐは瓦斯炭塵の爆發によるものにして、總死亡數の一割四分を占む。

坑内及坑外に於ける事由欄中「其他」なる項目に屬するものは轉倒、墜落、踏抜其他多種多様な事由を一括せるものにして其數は固より大なり。坑内に於ける「其他」欄に屬するものは總數の約三割八分、坑外に於ける「其他」欄に屬するものは總數の約一割三分を占むるも、現行統計表様式にては其内容を詳かにすることを得ざるを遺憾とす。今後其内容を更に分類して事由を明かにせば災害防止上參考となること尠からざるべし。

尙罹災者性別に就て之を見るに統計に於て坑内外共に女子の罹災者數は男子の約五分の一、落磐に於ては約六分の一なるにも拘らず坑内鑛車の事故に由る罹災者數は四分の一の多數に上るは女子が主として運搬又は仕繰手傳作業に従事する結果ならん。女子の一ヶ年平均罹災者總數は約三萬人なり。

鑛山鑛種別に從て災害事由別を比較するに、金屬山の落磐は總數の七分なるに比し石炭山の落磐は總數の約四割を占む。坑車に依る災害も又金屬山の割合と比較して稍大なるを見るも結局石炭山の災害が他に比して著しく大なるは主として落磐災害の數甚だ多きが爲めなることを數字的に明示するものにして鑛山災害中石炭山に於ける落磐の防止と各鑛山「其他」

欄に掲げたる轉倒、眼内異物竄入、踏抜等比較的輕微なる事故の防止に努めば著しく災害數を減却することを得べし。

## 六 事由別中主なる災害死傷累年比較 (第七表)

事由別中多數を占むる災害が最近十ヶ年間に於て如何なる増減の割合を以て推移しつつあるかは之を第七表に就て見るべし

災害數の大部分を占むる石炭山の落磐は大正八年に其最大數を現はし爾來漸減の傾向を示したるも大正十年、十二年及大正十四年に於て稍増加せるは其原因單に従業鑛夫數の増加にありや否や、幸にして昭和元年に至り著しく低減の迹を示せるは前述の如く災害防止に關する各種施設の結果ならんか、落磐に亞ぎて多數を占むる坑車に因る災害數の増減傾向は落磐のそれと全く其軌を一にせり。

金屬山に於ける落磐及坑車に因る災害數は大正六年以降同十二年迄漸減の傾向にありしもの爾後幾分増加の形勢を示せるは注意に値すべし。

## 七 石炭山に於ける出炭百萬噸當死傷率累年比較 (第八表)

石炭山に於ける各年の災害死傷數と出炭量との關係を見ん爲出炭百萬噸當りの死亡率、重傷率及輕傷率を算出したるものを第八表とす。

本表の示す所に依れば各年に於ける百萬噸當り死傷率の大勢を察知するに足るべき輕傷者率の増減は第七表に示せる落磐及坑車に因る災害の増減趨勢と略同一の傾向を現はせるが、一方出炭量は大正十年以後逐年増加せるに依て見れば此等の増減傾向は必ずしも事業の盛衰に比例するものにあらざるが如し。但し鑛夫數の増減は大正十年以後にあつては稍此等



の増減傾向と伴へり。

出炭百萬噸當り死傷率の中死亡率は各年不定にして一定の傾向なきは瓦斯炭塵の爆發により一舉に多數の生命を奪ふ場合には遽に高率を示すに由るべく、重傷率は大正五年迄は出炭百萬噸に付百人に満たざりしもの大正六年よりは劇増し各年百四十三人乃至二百三人を示せるは届出様式改正の結果によるものにして、輕傷率は大正元年迄出炭百萬噸に付一千人未滿なりしもの大正二年より遽に四千人以上を示すに至れるは注目し値す。

八 本邦と諸外國石炭山に於ける災害死傷比較 (第九表)

本表に於ては主として死者に就て比較せるも各國に於ける詳細の資料を缺ける廉多く充分なる比較をなし難きを遺憾とす。

我邦は累年死者實數に於て佛國を除き、英米獨よりも少數なるも負傷者數に於ては英國よりも概して多數なり。死亡者率に至りては獨米と稍伯仲の間に在るも英佛に比し著しく多數なり。

事由別中、落磐に因る死者は其他の事由に比し本邦同様英米共に高率なるも大體に於て逐年減少の傾向を示せるが本邦のものは必ずしも遞減の數を示さず。而して出炭量一萬噸當死者數に至りては本邦は英米佛獨の何れよりも多數なり。

第一表 災害死傷累年比較

年次	同回數	死傷人員		礦夫數	死亡負傷		礦夫延工數	死亡負傷	
		死亡	負傷		死亡	負傷		死亡	負傷
明治二十六年	同	六八	六三	八六,九一七	〇・七〇	〇・四〇	二六,九三三,七九四	〇・〇三	〇・〇一
二十七年	同	二六	五五	一〇一,四六一	〇・五四	〇・六一	三〇,二六三,五六五	〇・〇三	〇・〇三
二十八年	同	二七	七七	二八,九三三	〇・六五	〇・三八	三三,八七四,〇三九	〇・〇三	〇・〇一
二十九年	同	一八	四	二八,五七七	〇・三七	〇・三八	三五,四一八,六〇九	〇・〇一	〇・〇一
三十年	同	三三	一五	一六〇,五九九	〇・〇九	〇・一九	三七,六五三,五五五	〇・〇〇	〇・〇一
三十一	同	一五	一九	一三三,七七一	〇・一四	〇・三七	三三,四五〇,八六六	〇・〇一	〇・〇一
三十二	同	五八	六七	一九六,六七	五・六三	〇・八三	三三,七八四,四三八	〇・二一	〇・〇三
三十三	同	一七三	一七二	一三三,〇一一	一・三二	二・三四	三三,四六一,六四一	〇・〇五	〇・〇九
三十四	同	三四	二九	一四九,七五五	一・五〇	二・四六	三六,九三二,六七	〇・〇六	〇・〇一
三十五年	同	四七三	三三八	一四六,九三九	二・三三	三・七三	三八,〇〇三,六五九	〇・〇九	〇・〇一
三十六	同	五四一	三〇九	一五七,二一九	一・九七	三・六一	四二,六八七,四九九	〇・〇七	〇・〇四
三十七	同	九八五	三六七	一六四,八五八	一・六三	五・七七	四四,〇三三,六三四	〇・〇六	〇・〇三
三十八	同	三,五六三	三三〇	一五四,九七五	二・三三	二・四五	四一,〇二七,七二五	〇・〇八	〇・〇三
三十九	同	六,六三〇	七六三	一八七,九三二	四・〇六	三・四九	五一,三四〇,〇九六	〇・一五	〇・八五
四十	同	一三,三九一	五八一	二一四,四三五	二・七	六・五三	五五,四四〇,八三三	〇・一〇	一・二七
四十一	同	一四,七三三	三二五	二〇二,五八九	一・五五	七・七七	五七,〇六五,九四一	〇・〇六	二・三八
四十二	同	一四,八〇三	六七三	二三三,八二七	二・八八	六・七〇	五六,三三五,〇七七	〇・一三	二・六一



(2) 石炭山

年次	回数	死傷人員			鑛夫數	死傷數千分率			鑛夫延工數	死亡延工數千分率		
		死亡	重傷	輕傷		死亡	重傷	輕傷		死亡	重傷	輕傷
昭和十一年	九三九五	三三	二四九	九三、四八	四〇、〇八〇	〇・八〇	六二・二	三三〇・七四	一一、九二九五	〇・〇三	〇・二二	七・七五
同十二年	三三三八	六七	四八五	一一、七〇六	四一、九七一	一・六〇	一五・六	三〇・七三	一三、五七六八	〇・〇五	〇・三九	一〇・一〇
同十三年	一三、一九七	五〇	一、〇二〇	一一、二二六	四三、三六一	一・一八	二四・〇八	二八・八六一	一一、九七六八	〇・〇四	〇・七九	九・四三
同十四年	一四、四五九	五二	九六六	一三、五六九	四四、八六一	一・一四	二二・五三	三〇・三四七	一三、五二四、四〇三	〇・〇四	〇・七一	一〇・〇三
昭和元	一三、八六〇	七六	二、九三	一三、五九八	四六、九三三	一・六三	六二・四	二八、九七七	一三、七五一、八六九	〇・〇六	〇・三一	九・八九
明治三十二年	四五	二六五	二七	二五	六〇、九六四	四・五五	〇・四四	〇・四二	一六、五三九、八八七	〇・一六	〇・二二	〇・〇三
同三十三年	一三五	四三	七六	八〇	七〇、五〇八	〇・六一	一・二一	一・二四	一六、九九二、一〇三	〇・〇三	〇・〇五	〇・〇五
同三十四年	二四六	一八〇	一九二	七八	七五、三三〇	二・三九	二・五四	一・〇四	一九、四一四、六六六	〇・〇九	〇・一〇	〇・〇四
同三十五年	三三五	一三五	一七三	二一九	七八、八九四	一・七一	二・八	二・七八	一九、九八七、六四〇	〇・〇七	〇・〇九	〇・一〇
同三十六年	三八八	二二五	二七九	一八〇	八四、九四一	二・五三	三・三八	二・二二	二二、三五八、三六八	〇・一〇	〇・一三	〇・〇八
同三十七年	七五五	一八九	二三四	五一一	八八、三三〇	二・四	二・五四	五・七九	二三、六六三、一九〇	〇・〇八	〇・一〇	〇・〇三
同三十八年	二、五五六	二五六	一九〇	二、三四	七九、五〇五	三・二一	二・三九	二・九三六	一九、三三〇、七三六	〇・一三	〇・一〇	〇・一三
同三十九年	五、〇三二	五六〇	二九八	四、六五四	一〇六、五八九	五・三五	二・七九	四・二二	二七、七四二、八六二	〇・二〇	〇・一五	一・六八
同四十年	七、三七八	四六八	五三二	七、〇一一	一八七、七二三	三・三	四・二	五・四四五	三二、七四七、〇七七	〇・一五	〇・一三	二・二二
同四十一年	八、三五六	二四五	四三一	七、八八四	一六六、九九九	一・三	三・三九	三・三九	三四、〇六八、八九九	〇・〇七	〇・一〇	二・二二
同四十二年	八、一八八	三〇七	四二〇	七、七二二	一五三、一五五	三・五一	二・六九	五・〇五七	三三、七七一、九五六	〇・一六	〇・一三	二・三五
同四十三年	七、一七〇	四九七	四三九	六、五四九	一三七、四六七	二・三三	三・九	四・七六四	三三、七一、九七六	〇・〇九	〇・一三	一・九四
同四十四年	一三、三六一	一、三八九	一、二九七	一、二九七	一四、五四三	三・四二	五・七八	八、四七七	三六、一〇六、一三七	〇・一四	〇・一三	三・四一
大正元	一八、六五五	八六〇	一、三八九	一、七〇四	一五、二四二	五・六四	九・二	一一、一八三	三八、八三〇、九九二	〇・二三	〇・一六	四・四二

(3) 石油山

年次	回数	死傷人員			鑛夫數	死傷數千分率			鑛夫延工數	死亡延工數千分率		
		死亡	重傷	輕傷		死亡	重傷	輕傷		死亡	重傷	輕傷
昭和元年	一四三、〇三〇	七二	三、三六四	一三九、七五	二五、〇四四	三・〇三	一四・三二	五、九四・六五	五、七、四三七	〇・一二	〇・五九	二、四、三四
同十四年	一七二、〇三二	七二	四、五五三	一六六、九一六	二五、三八九	二・八五	一七・八八	六、六〇・一三	六〇、三六八、三三三	〇・一二	〇・七五	二、七、六五
同十三年	一六〇、一七八	八三九	六、一一四	一五四、五八五	二五、一〇六九	三・三四	二四・三三	六、一五、七七	六〇、〇六三、四三五	〇・一四	〇・一三	二、五、八九
同十二年	一七三、三二三	六六三	五、九〇三	一六七、二三八	二七、八七二	二・三八	二一・七	五、九、八八	六〇、〇三三、四三〇	〇・一一	〇・九八	二、四、八四
同十一年	一五八、八三四	五四七	五、八七	一四八、六六九	二四、九〇三二	二・二〇	二二・六四	五、九七、〇一	六三、七五、一四九	〇・一〇	〇・八三	二、四、七三
同十年	一五三、七八〇	五四七	五、八八七	一四八、六六九	二四、九〇三二	二・二〇	二二・六四	五、九七、〇一	六三、七五、一四九	〇・一〇	〇・八三	二、四、七三
同九年	一八一、三八二	七六五	五、五〇五	一八四、五三七	三三、八三三	二・二〇	一五・八一	五、五、九	八四、五、四〇五	〇・〇九	〇・六五	二、一、八三
同八年	一三七、〇三三	六八二	四、五〇八	一三四、〇六二	二八、七一五九	二・三七	一五・七〇	四、六、八三	六九、一、九三、〇三	〇・一〇	〇・六五	一、九、三七
同七年	一〇七、三三三	四四九	三、八五四	一〇四、七八五	二五、〇一四四	四・〇三	一五・二九	四、九、七	五七、六、七、九九	〇・一七	〇・八四	二、二、六七
同六年	一〇七、四七七	四四五	三、七四	一〇七、一八九	一九、三、四一	三・三九	六、九九	五、五、四、九七	四七、三、八、三三	〇・一〇	〇・二九	二、三、一八
同五年	一一七、四七七	四四五	三、七四	一一七、一八九	一九、三、四一	三・三九	六、九九	五、五、四、九七	四七、三、八、三三	〇・一〇	〇・二九	二、三、一八
同四年	一〇七、三三三	四四五	三、七四	一〇七、一八九	一九、三、四一	三・三九	六、九九	五、五、四、九七	四七、三、八、三三	〇・一〇	〇・二九	二、三、一八
同三年	一〇七、三三三	四四五	三、七四	一〇七、一八九	一九、三、四一	三・三九	六、九九	五、五、四、九七	四七、三、八、三三	〇・一〇	〇・二九	二、三、一八
同二年	一一〇、五八〇	五〇七	八三	九九、九四五	一七、三、四六	二・九四	四・七七	五、七、九、五七	四〇、三、六、九、九九	〇・一三	〇・二〇	二、四、七七
大正元	一四四、七六六	一、五七三	四〇	一四四、六三二	一八、三、三二	八・六一	二・五三	六、二、七、六四	四四、一〇六、九九二	〇・三六	〇・一〇	二、五、九九
同十四年	一四三、三三三	一、〇八八	三、八三四	一三九、〇〇三	二五、〇一四四	四・〇三	一五・二九	四、九、七	五七、六、七、九九	〇・一七	〇・八四	二、二、六七
同十三年	一六一、三三三	七六五	五、五〇五	一八四、五三七	三三、八三三	二・二〇	一五・八一	五、五、九	八四、五、四〇五	〇・〇九	〇・六五	二、一、八三
同十二年	一七三、三二三	六六三	五、九〇三	一六七、二三八	二七、八七二	二・三八	二一・七	五、九、八八	六〇、〇三三、四三五	〇・一一	〇・九八	二、四、八四
同十一年	一五八、八三四	五四七	五、八八七	一四八、六六九	二四、九〇三二	二・二〇	二二・六四	五、九七、〇一	六三、七五、一四九	〇・一〇	〇・八三	二、四、七三
同十年	一八一、三八二	七六五	五、五〇五	一八四、五三七	三三、八三三	二・二〇	一五・八一	五、五、九	八四、五、四〇五	〇・〇九	〇・六五	二、一、八三
同九年	一三七、〇三三	六八二	四、五〇八	一三四、〇六二	二八、七一五九	二・三七	一五・七〇	四、六、八三	六九、一、九三、〇三	〇・一〇	〇・六五	一、九、三七
同八年	一〇七、三三三	四四九	三、七四	一〇七、一八九	一九、三、四一	三・三九	六、九九	五、五、四、九七	四七、三、八、三三	〇・一〇	〇・二九	二、三、一八
同七年	一〇七、四七七	四四五	三、七四	一〇七、一八九	一九、三、四一	三・三九	六、九九	五、五、四、九七	四七、三、八、三三	〇・一〇	〇・二九	二、三、一八
同六年	一〇七、三三三	四四五	三、七四	一〇七、一八九	一九、三、四一	三・三九	六、九九	五、五、四、九七	四七、三、八、三三	〇・一〇	〇・二九	二、三、一八
同五年	一一七、四七七	四四五	三、七四	一一七、一八九	一九、三、四一	三・三九	六、九九	五、五、四、九七	四七、三、八、三三	〇・一〇	〇・二九	二、三、一八
同四年	一〇七、三三三	四四五	三、七四	一〇七、一八九	一九、三、四一	三・三九	六、九九	五、五、四、九七	四七、三、八、三三	〇・一〇	〇・二九	二、三、一八
同三年	一〇七、三三三	四四五	三、七四	一〇七、一八九	一九、三、四一	三・三九	六、九九	五、五、四、九七	四七、三、八、三三	〇・一〇	〇・二九	二、三、一八
同二年	一一〇、五八〇	五〇七	八三	九九、九四五	一七、三、四六	二・九四	四・七七	五、七、九、五七	四〇、三、六、九、九九	〇・一三	〇・二〇	二、四、七七
大正元	一四四、七六六	一、五七三	四〇	一四四、六三二	一八、三、三二	八・六一	二・五三	六、二、七、六四	四四、一〇六、九九二	〇・三六	〇・一〇	二、五、九九

年	次	回数	死亡	重傷	輕傷	死亡	重傷	輕傷	死亡	重傷	輕傷
昭和元	同	六〇九	六	一四	五三	〇・九四	一七八〇	八〇・〇八	二、一七六三〇	〇・〇三	二、四三
同十	同	六三九	六	一〇六	五三一	〇・八二	一四四八	七三・五五	二、二八八三	〇・〇三	三、三八
同十一	同	七四四	五	九四	六八九	〇・七三	一三五四	九三・五三	二、二〇三三九	〇・〇二	三、三五
同十二	同	八六七	九	一二七	七六一	一・二〇	一六九七	一〇一・六七	二、三四八三七六	〇・〇四	一、九四
同十	同	六六一	四	一一二	四九七	〇・四六	一三九六	五七・五二	二、五六六九八八	〇・〇二	三、三六
同十	同	九三四	五	五六	八六六	二・四三	四七六	七三・五五	二、五七九一八九	〇・〇三	〇・三六

(4) 其他ノ非金屬山 (自明治三十二年ハ石油山ヲ含ム)

年	次	回数	死亡	重傷	輕傷	死亡	重傷	輕傷	死亡	重傷	輕傷
明治三十	同	二	一	二	一	〇・六六	一	一	一、四一、九四六	〇・〇四	一
同三十二	同	三	一	二	一	〇・九三	一	一	一、二九、一八五	〇・〇五	一
同三十三	同	三	一	二	一	〇・九三	一	一	一、四一、四三二	〇・〇四	一
同三十四	同	三	一	二	一	〇・六二	一	一	一、四六、三八一	〇・〇四	一
同三十五	同	九	一	二	一	一・八三	一	一	一、八二、九四一〇	〇・〇五	一
同三十六	同	三	一	二	一	一・三五	一	一	一、四七、七六三	〇・〇五	一
同三十七	同	三	一	二	一	〇・六一	一	一	一、八三、三〇八	〇・〇二	一
同三十八	同	三	一	二	一	一・三三	一	一	二、三三、七三五	〇・〇五	一
同三十九	同	三	一	二	一	〇・七八	一	一	二、四九、六五〇	〇・〇三	一
同四十	同	四	一	二	一	一・二二	一	一	二、二〇、一三〇	〇・〇二	一
同四十一	同	三	一	二	一	〇・九七	一	一	二、五二、六八二	〇・〇一	一
同四十二	同	三	一	二	一	一・八〇	一	一	二、五二、六八二	〇・〇一	一
同四十三	同	七	一	二	一	一・五〇	一	一	三、九〇、四九二	〇・〇五	一

年	次	回数	死亡	重傷	輕傷	死亡	重傷	輕傷	死亡	重傷	輕傷
同十四	同	八三三	七	二七	八〇三	一・三六	五三〇	一五四五六	一、二七、九五〇	〇・〇六	六三二
同十三	同	九〇四	八	三五	八五三	一・五〇	九七三	一五九五三	一、四九、五八〇	〇・〇七	五九三
同十二	同	九六一	九	四三	八九一	一・八四	一七〇〇	一八二五	一、三六、四七九	〇・〇七	七〇六
同十一	同	六四六	二	四五	六六	〇・四八	一〇八三	一四八・三三	九七四、二九	〇・〇三	六三三
同十	同	三六一	三	二九	三三	〇・六五	九四九	一一一九六	七六八、八三三	〇・〇三	四四五
同九	同	五九八	三	二二	三七	〇・七五	七七六	一四四・三六	九六五、〇七五	〇・〇三	五九八
同八	同	八七八	二	一七	八三五	〇・三三	三〇九	九三・八九	一、三八九、六七九	〇・〇一	六〇四
同七	同	八八七	一	一三	八三七	一・三四	三八九	一〇一・六四	一、八七五、九〇一	〇・〇六	四四六
同六	同	一、四七三	四	七一	一、四六二	一・二〇	二四八・八三	一、九三三、六三八	一、九三三、六三八	〇・〇三	七五六
同五	同	二、六八一	一〇	七八	二、五九二	〇・九三	七六六	三三・七八八	二、五二七、三九五	〇・〇四	一〇・三〇
同四	同	二、一五五	一八	九六	一、八五七	一・一七	六三三	一一〇・三五	四、〇三〇、五一七	〇・〇四	四六一
同三	同	四、〇〇三	二七	三四	三、九七七	二・五五	二、七七	三三・七七	二、七〇六、四三三	〇・一〇	一四七三
同二	同	二、〇一九	一八	二八	二、〇〇一	一・六八	一、七五	一八・六五〇	二、九五八、六七〇	〇・〇六	六七六
同元	同	一、四三三	六	二〇	一、四二五	一・五九	一、九五	一三九・一九	二、八七五、七七	〇・〇二	四九五
同十四	同	一、三〇〇	九	一六	一、二〇六	一・〇九	〇・七三	一一・二八八	二、五六六、六七五	〇・〇四	〇・四二
同十四	同	三七〇	一七	一九	一、〇三三	二・〇五	二・三九	一一・二四四	二、八四六、三九五	〇・〇六	〇・三六

第三表 十年間平均鑛種別災害死傷比較 (自大正六年十年間平均) (1) 平均一年間ノ實數

鑛種別	回数	死亡	重傷	輕傷	鑛夫數	死亡	重傷	輕傷	鑛夫延工數	死亡	重傷	輕傷
金屬山	一九五三〇	一〇〇	七四八	一八四五五	七、七七七	一・〇三	九七五	二四〇・五〇	二二、〇六六、八八二	〇・〇五	〇・三六	八七六

礦種別	同數	死傷人員		礦夫數	礦夫延工數
		死亡	重傷		
石炭山	一五七三〇	七七七	四,九三三	一四,八三〇	二七,六三三
石油山	七四九	七	八四	六六九	八,〇九三
石炭山	一,〇三三	六	四八	九八	〇,九三
其他非金屬山	一七,六二二	八七〇	五,八七三	一七,四九三	二,三七
合計					

(2) 平均一年間ノ割合

礦種別	同數	死傷人員		礦夫數	礦夫延工數
		死亡	重傷		
金屬山	一〇,九三三	一,一四九	二,七四	一八,〇七	五,六〇,四〇
石炭山	八,八〇七	八七〇	一,〇四三	一,〇四三	二,三七三,七八
石油山	〇,四三三	〇,八〇	〇,九三	七,五三	一,五五五,九
其他非金屬山	〇,五七	〇,六九	〇,八三	〇,五九	一,四四一,六八〇
合計	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇	九〇,二七八,七九五

第四表 坑内外別災害死傷礦種別比較 (自大正六年(至昭和元年十年間平均))

坑別	同數	死傷人員		礦夫數	礦夫延工數	死傷人員對延工數	
		死亡	重傷			死亡	重傷
坑內	一五,三九五	七,八九	五,〇四七	一五,一三〇	三,二六	二,〇八八	六,二六〇
坑外	一七,六二二	八七〇	五,八七三	二四,一六九	三,二六	二,〇八八	五,四六二,七六〇
合計							

(1) 平均一年間ノ實數

別種	坑內	坑外	合計	同數	死傷人員		礦夫數	礦夫延工數	死傷人員對延工數			
					死亡	重傷			死亡	重傷		
金屬山	一一,二七五	八,三五四	一九,〇二九	七,三	四,八五	一〇,七一〇	一,九五	一,三三	三,八九七	〇,〇八	〇,五一	一,二八
石炭山	一四,三五五	一四,七三五	二九,一八〇	七,二四	四,五五三	一四,〇三九	三,五三	二,三四九	六,九三,五五	〇,〇六	一,〇一	三,〇四三
石油山	二〇,四	七,四九	二七,八九	二	九	二〇,三	〇,八六	三八六	八,七一六	〇,〇四	〇,〇〇	四,四三
其他非金屬山	一五,三九五	八,三五四	二三,七〇九	七,八九	五,〇四七	一五,一三〇	三,二六	二,〇八八	六,二六〇	〇,一四	〇,九三	二,七三〇
合計	二四,六四六	二四,六四六	四九,二九二	八二	八三五	三三,六二九	〇,六四	六,五六	一八,七,九四	〇,〇三	〇,三三	六,六三

(2) 平均一年間ノ割合

坑内外別	坑內	坑外	合計	同數	死傷人員		礦夫數	礦夫延工數
					死亡	重傷		
金屬山	八,六二〇	八,六二〇	一七,二四〇	七,二六	九,九一三	一七,一三	六,五七八	六,〇五一
石炭山	一三,八〇	一三,八〇	二七,六〇	九,六一	一四,〇五	一三,五二	三,四三三	三,九四九
石油山	一〇,〇〇	一〇,〇〇	二〇,〇〇	七,六	九,九一三	一七,一三	一,五二八	一,七三七
其他非金屬山	〇,一三	〇,一三	〇,二六	九,六一	九,〇五〇	一八,〇二	八,三七六	八,一七九
合計	二二,六五三	二二,六五三	四五,三〇六	二四,八	三九,八〇三	四〇,七〇	一五,三三八	一五,三七

礦種別	坑外	坑內	計
金	三三九〇	三二八八	六六七八
石炭	五九七五	五三三三	一一三〇八
石油	三〇四	一〇一八	一三二二
其他非金屬山	三三三	四六一	七九四
計	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	二〇〇・〇〇
	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	二〇〇・〇〇
	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	二〇〇・〇〇
	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	二〇〇・〇〇
	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	二〇〇・〇〇

(1) 坑內及坑外ノ災害數總計  
**第五表 坑内外別災害死傷累年比較** (自大正六年至昭和元年十 年間)

外坑内別	年次	回数	死傷人員			坑内外別	延工數	延工死亡		
			死亡	重傷	輕傷			延工死亡	重傷	輕傷
大正六年	同	一三四四七	二七	一八九八	一三三、〇七	四三三	六三、八一、八七〇	〇・八	〇・八	二、三二四
同七年	同	一三八一七五	七〇	四、七九三	二九九、五一八	二六〇	六八、〇七、四〇六	〇・二	〇・七	一、九八四
同八年	同	一七六七八	八三	五、四一九	三〇六、三〇〇	二六九	七〇、六三、四三三	〇・三	〇・二	二、五〇四
同九年	同	一四四七〇七	一〇二	一七、九六三	二七、二二六	三五七	六五、二七、四〇〇	〇・六	〇・六	二、五八二
同十年	同	一五二、五〇五	六三	五、〇八三	二四一、七四	二六八	四九、四九、三三九	〇・三	〇・三	二、九八四
同十一年	同	一四六、二四	五七	五、五八八	二〇〇、三〇一	二九七	四五、八六、〇五〇	〇・三	〇・二	三、〇八〇
同十二年	同	一六五、四三七	六八	五、七六七	二二五、〇五一	二九七	四三、七、七八〇	〇・五	〇・五	三、五〇〇
同十三年	同	一五四、六七	八四	六、三三三	三三三、五二〇	四〇六	四六、三、三三三	〇・八	〇・一	三、三〇九
同十四年	同	一六六、六七一	七〇	四、八七八	二〇八、二九五	三三六	四七、一四、三八三	〇・五	〇・三	三、四四〇

外	坑	内	死傷人員			坑内外別	延工數	延工死亡		
			死亡	重傷	輕傷			延工死亡	重傷	輕傷
平	同	同	七三	三、二四九	一五、一〇七	三八八	四、四八、六七〇	〇・六	〇・六	三、一〇四
昭	同	同	七八	五、〇四七	二四、六九一	二二六	五四、六、二七、六七〇	〇・四	〇・九	二、七七〇
和	同	同	一三〇	一、〇三〇	一五六、四一二	〇八三	四二、七二、三六五	〇・三	〇・三	六、八〇
元	同	同	一三四	一、〇八四	一六五、二〇九	〇八一	四五、〇二、九九三	〇・三	〇・三	六、四九
均	同	同	一〇七	九、九	一五八、八八八	〇六七	四六、八、七、九、三	〇・二	〇・二	六、九五
平	同	同	七五	七、六〇	一五一、九三三	〇四九	四一、六、五、一、七〇八	〇・一	〇・一	六、八九
昭	同	同	五七	六、九〇	一四四、六三四	〇五〇	三、一四、六、八、四	〇・二	〇・二	六、八三
和	同	同	四八	六、八九	一〇〇、五六〇	〇四八	二九、四八、〇、七、五	〇・二	〇・二	五、九〇
元	同	同	七三	七、九三	一〇七、三三六	〇六八	三〇、〇、六、四、九、〇	〇・三	〇・三	六、九八
均	同	同	五七	九、三三	一〇一、七四三	〇五六	二九、七、三、四、〇、九八	〇・二	〇・二	六、六〇
平	同	同	六六	七、七八	一〇二、三三二	〇六五	三〇、四、三、七、三、五	〇・三	〇・三	六、四七
昭	同	同	八二	五、四一	九八、四五五	〇六五	二九、〇、八、七、三、二	〇・三	〇・三	六、〇五
和	同	同	八二	八、三三	一三五、七二七	〇六四	三、五、六、五、一、二、四	〇・三	〇・三	六、六三

金	年次	回数	死傷人員			坑内鑛夫數	坑内鑛夫對比			延工數	延工對比		
			死亡	重傷	輕傷		死亡	重傷	輕傷		死亡	重傷	輕傷
大正六年	同	一八七四五	一四	七三五	一七、八三二	八六、四〇九	一六七	八、三、九、二、〇、六、九五	〇・〇七	〇・三	八、四、六		
同七年	同	一七、七八七	一五〇	七三九	一六、四七〇	八三、九八六	一七九	八、六、八、一、六、一、〇	〇・〇八	〇・三	八、五、四		
同八年	同	一四、七四	一一	五〇三	一四、三四九	四七、七六五	二二三	一〇、五、三、二、九、八、三	〇・〇九	〇・四	一一、七、二		
同九年	同	一二、七九八	七	四九九	一二、三五〇	三四、六三一	二二七	一四、四、一、一、五、五、四	〇・〇八	〇・五	一三、一、三		

山 屬 石		山 屬	
年次	同數	年次	同數
大正六年	一一五,三六九	同	七,八八三
同七年	一一〇,七九四	同	五,四七三
同八年	一六一,八三六	同	七,九一五
同九年	一五一,七〇四	同	八,三五八
同十年	一四四,四四四	同	九,五五五
同十一年	一四〇,四八一	同	九,〇四三
同十二年	一五七,三二九	同	一一,一七五
同十三年	一四六,一〇四	同	九,〇四三
同十四年	一五六,九四八	同	九,〇四三
昭和元年	一三一,〇四一	均	一一,一七五
平均	一四三,五九五		
死亡	七四	死亡	七三
重傷	四,五五三	重傷	四八五
輕傷	一四〇,三九四	輕傷	一〇,七〇〇
延工數	三,四九四	延工數	三六,九三五
死亡	〇・八六	死亡	一・九五
重傷	四・〇一	重傷	一・三三
輕傷	九〇・四四	輕傷	二八・九九七
延工數	六四九,四四三	延工數	九,四九一,〇二二
死亡	〇・〇五	死亡	〇・〇八
重傷	〇・三三	重傷	〇・一〇
輕傷	四八・七	輕傷	一・二一

山 屬 金		山 屬 金	
年次	同數	年次	同數
大正六年	一七八	同	一七,八八三
同七年	一七〇	同	五,四七三
同八年	一一七	同	七,九一五
同九年	一一三	同	八,三五八
同十年	一一三	同	九,五五五
同十一年	一一三	同	九,〇四三
同十二年	一一三	同	一一,一七五
同十三年	一一三	同	九,〇四三
同十四年	一一三	同	九,〇四三
昭和元年	一一三	均	一一,一七五
平均	一一三		
死亡	二	死亡	七
重傷	九	重傷	四八五
輕傷	二〇三	輕傷	一〇,七〇〇
延工數	一,六七四	延工數	三六,九三五
死亡	〇・六〇	死亡	一・九五
重傷	四・七八	重傷	一・三三
輕傷	一〇六・九三	輕傷	二八・九九七
延工數	三六〇,一四三	延工數	九,四九一,〇二二
死亡	〇・〇三	死亡	〇・〇六
重傷	〇・〇七	重傷	〇・一〇
輕傷	四九・七	輕傷	一・二一

(3) 坑外ノ災害數(鑛種別)

山 屬 金		山 屬 金	
年次	同數	年次	同數
大正六年	一五,四一五	同	七,八八三
同七年	一五,八九八	同	五,四七三
同八年	一一,一六〇	同	七,九一五
同九年	一〇,三四八	同	八,三五八
同十年	六,一九九	同	九,五五五
同十一年	三,九三三	同	九,〇四三
同十二年	五,一五三	同	一一,一七五
同十三年	四,八三九	同	九,〇四三
同十四年	四,八九四	同	九,〇四三
昭和元年	四,八一七	均	一一,一七五
平均	八,三五四		
死亡	二八	死亡	七三
重傷	二六三	重傷	四八五
輕傷	七,七四六	輕傷	一〇,七〇〇
延工數	三,九八〇	延工數	三六,九三五
死亡	〇・七〇	死亡	一・九五
重傷	六・六一	重傷	一・三三
輕傷	一四四・六一	輕傷	二八・九九七
延工數	一,一五七,八八〇	延工數	九,四九一,〇二二
死亡	〇・〇三	死亡	〇・〇八
重傷	〇・一五	重傷	〇・一〇
輕傷	六・六九	輕傷	一・二一

大正六年	同七年	同八年	同九年	同十年	同十一年	同十二年	同十三年	同十四年	昭和元年均	山
二,三四九	一,二八一	七三三	六七四	四三〇	一九一	四三三	七四三	七四六	六二九	八二八
二,七	二,九	二,二	二,二			三,五	三,五	三,二	三,二	
六四	六七	二四	二〇	二〇	二二	二二	二二	三九	三八	
二,二七六	一,三二一	六九	六九	六三	六三	六三	六三	五九九	七七	
七四〇三	五八二九	五,二八	五,九三	五,九三	二,三三	一,六七	二,四三	二,八七	二,八七	三,九七
〇九五	〇三三	一七三	〇三三	〇三三	〇八六		一,七四	一,五七	〇六	〇七五
八六五	一,四九	四,〇一	三,七	三,七	九,九	一,〇一	三,五〇	六,五	九,五	九,五
一,八六七,九五二	一,四五七,九〇七	一,三三,六三	九一,一三一	六〇,四九	四,六	四,六	二,五〇七	二,二,四	二,二,四	九,五
〇〇四	〇〇一	〇〇七	〇〇三	〇〇三	〇〇三		〇〇六	〇〇五	〇〇二	〇〇三
〇三	〇四	〇八	〇二	〇二	〇二		〇五	〇四	〇二	〇三
一,二一八	八,三八	五,一三	六,九	六,五	八,八		六,七	七,三	七,三	七,九

大正六年	同七年	同八年	同九年	同十年	同十一年	同十二年	同十三年	同十四年	昭和元年均	山	炭	石
八四二	六六六	六八二	八五五	九三四	六二一	八六七	七四四	六三九	六〇九	七四九	一,二六七	一,二六七
一,三	一,七	四	五	四	四	九	五	六	六	七	一,六二九	一,六二九
七	五	七	四	四	五	五	四	四	一	四	一九,四四六	一九,四四六
七五	七〇	七〇	六二	六二	六二	六二	五九	五九	五九	六六	一七,〇〇六	一七,〇〇六
七,六五二	八,〇六三	八,一三三	八,六四	一,二七四	一,七〇四	七,八四五	三,九四〇	七,三三〇	六,四〇六	八,〇九	一四,〇八三	一四,〇八三
〇九一	一六一	〇八九	〇四六	〇四二	〇四六	〇八四	〇七三	〇八二	〇四	〇八七	一三,三九九	一三,三九九
六六六	八六八	六九八	六六七	四七六	二八七	一,六九七	一,三五四	一,四四八	一,七八〇	一,〇三八	一五,〇三九	一五,〇三九
一〇,二五九	七八三八	七,八七八	九,一一二	七,三五五	五,七一〇	一〇,一六七	九,九二八	七,三五四	八,〇〇八	八,二六七	一四,〇七四	一四,〇七四
一,七二六,五五八	二,〇,九三三,〇三五	二,六六,五五六	二,五七,〇四,五三	一,九三,九,四五〇	一,九,二,〇,五,四一七	二,〇,六〇,〇,三,八一	一,九,八,八,三,四,四〇	一,九,三,九,五,二,一六	一,八,一,四,一,九,三,八一	一,八,一,四,一,九,三,八一	一四,七二六	一四,七二六
〇〇二	〇〇三	〇〇三	〇〇三	〇〇三	〇〇二	〇〇二	〇〇二	〇〇二	〇〇三	〇〇三	〇〇三	〇〇三
〇二	〇二	〇二	〇二	〇二	〇二	〇二	〇二	〇二	〇二	〇二	〇二	〇二
六,四四	七,五六	七,二六	六,七二	六,六	六,八	七,一〇	七,一〇	七,一〇	七,一〇	七,一〇	六,四八	六,四八









(2) 金 屬 山

總 計	表 地		內							坑						種 別	事 由	回 數	平 均	傷 均						總 數	死 亡 對 ス レ 百 分 率													
	其 計	電 氣 計	其 計	電 氣 計	器 械 計	瓦 斯 計	發 車 計	坑 車 計	自 動 車 計	又 又 計	於 於 計	推 揚 坑 計	瓦 斯 計	落 下 計	死					女	計	男	女	計	男			女	計	男	女	計	男	女	計	同 數	死 亡	重 傷	輕 傷	計
一九一四〇・五	七・九二七	五・六〇〇	一一、二八八	八・五九七	三・九九八	一、一〇三	七・二〇三	六・六二七	六・六二七	六・六二七	一・一〇三	一・一〇三	一・一〇三	一、三四〇・〇			三三・七	二二・六	四〇・三	七三・九	四六・九	二八・九	七五・八	三九・二	三六・七	七五・九	一、三二五・〇	二、三二一	一、三二一	七、四三三	三、三三三	四、一〇〇	一一、〇三三	一、三二五・〇	六、九〇〇	三三・七	九、五三三	六、八〇〇	七、〇三三	
九四八	三、四一六	一、五〇四	二、二八〇	一、九一〇	七、二〇三	二、二〇三	二、二〇三	二、二〇三	二、二〇三	二、二〇三	二、二〇三	二、二〇三	二、二〇三	三、三三三			七三・九	二二・六	四〇・三	一一、二八八	七、三三三	二、二〇三	七三・九	三九・二	三六・七	一一、三二五・〇	二、三二一	一、三二一	七、四三三	三、三三三	四、一〇〇	一一、〇三三	一、三二五・〇	六、九〇〇	三三・七	九、五三三	六、八〇〇	七、〇三三		
九四九	三、三三三	一、五〇四	二、二八〇	一、九一〇	七、二〇三	二、二〇三	二、二〇三	二、二〇三	二、二〇三	二、二〇三	二、二〇三	二、二〇三	二、二〇三	三、三三三			七三・九	二二・六	四〇・三	一一、二八八	七、三三三	二、二〇三	七三・九	三九・二	三六・七	一一、三二五・〇	二、三二一	一、三二一	七、四三三	三、三三三	四、一〇〇	一一、〇三三	一、三二五・〇	六、九〇〇	三三・七	九、五三三	六、八〇〇	七、〇三三		

(2) 金屬山

事由	回数		死亡		重傷		輕傷		合計		總數ニ對スル百分率				
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	回数	死亡	重傷	輕傷	計
	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計					
別	一、三〇四	三三二	〇	〇	七五〇	一、二五〇	一、二五〇	一、二五〇	一、二五〇	一、二五〇	一、三〇四	三三二	〇	〇	一、三〇四
斯又ハ炭塵ノ爆發	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
整坑 捲揚 超過	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
整坑 捲揚 ノ切斷	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
捲揚機ニ因リ昇降中	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
テ 捲揚機ニ因リ昇降中	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
車道 鎖索ノ切斷	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
捲揚機ニ因リ昇降中	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
其 坑車逃走又ハ脱線	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
車(前項以外)ノ爲	九、七三	二二	〇	〇	四、一八	八、二一	八、二一	八、二一	八、二一	八、二一	九、七三	二二	〇	〇	九、七三
破又ハ爆發藥ノ爲	七、六〇	二二	〇	〇	二、六三	八、二一	八、二一	八、二一	八、二一	八、二一	七、六〇	二二	〇	〇	七、六〇
斯ノ中 毒又ハ窒息	一、六五	〇	〇	〇	〇	一、六五	一、六五	一、六五	一、六五	一、六五	一、六五	〇	〇	〇	一、六五
水	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
械	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
氣	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
計	二、二八八	七三	二、二八八	七三	七、五三	一、二五〇	一、二五〇	一、二五〇	一、二五〇	一、二五〇	二、二八八	七三	二、二八八	七三	二、二八八
械 破 裂	三、九八	二、六	三、九八	二、六	二、六	二、六	二、六	二、六	二、六	二、六	三、九八	二、六	二、六	二、六	三、九八
發藥ノ爲	一、一五	〇	一、一五	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一、一五	〇	〇	〇	一、一五
車又ハ架空索道ノ爲	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
灼融物ノ爲	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
物ノ爲	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
氣ノ爲	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
計	七、九七	二、六	七、九七	二、六	二、六	二、六	二、六	二、六	二、六	二、六	七、九七	二、六	二、六	二、六	七、九七
他	一、九一四	九四八	一、九一四	九四八	九四八	一、九一四	一、九一四	一、九一四	一、九一四	一、九一四	一、九一四	九四八	九四八	九四八	一、九一四

限業資新出輝 (年間時表十十年間半表) 自大五六半

業種	回数	死亡	重傷	輕傷	計
金属山	1,304	332	0	0	1,304
炭塵ノ爆發	0	0	0	0	0
整坑 捲揚 超過	0	0	0	0	0
整坑 捲揚 ノ切斷	0	0	0	0	0
捲揚機ニ因リ昇降中	0	0	0	0	0
テ 捲揚機ニ因リ昇降中	0	0	0	0	0
車道 鎖索ノ切斷	0	0	0	0	0
捲揚機ニ因リ昇降中	0	0	0	0	0
其 坑車逃走又ハ脱線	0	0	0	0	0
車(前項以外)ノ爲	9,73	22	0	0	9,73
破又ハ爆發藥ノ爲	7,60	22	0	0	7,60
斯ノ中 毒又ハ窒息	1,65	0	0	0	1,65
水	0	0	0	0	0
械	0	0	0	0	0
氣	0	0	0	0	0
計	2,288	73	2,288	73	2,288
械 破 裂	3,98	2,6	3,98	2,6	3,98
發藥ノ爲	1,15	0	1,15	0	1,15
車又ハ架空索道ノ爲	0	0	0	0	0
灼融物ノ爲	0	0	0	0	0
物ノ爲	0	0	0	0	0
氣ノ爲	0	0	0	0	0
計	7,97	2,6	7,97	2,6	7,97
他	1,914	948	1,914	948	1,914

(3) 石炭山

總計	地		坑		事由種別	回数	死亡		重傷		輕傷		合計		回数	死亡	重傷	輕傷	合計	總數ニ對スル百分率	
	表	內	其	計			瓦落	揚塵	男	女	男	女	男	女							男
					其																
一、三、三〇・三	一、三、三〇・三	一、三、三〇・三	一、三、三〇・三	一、三、三〇・三	一、三、三〇・三	一、三、三〇・三	一、三、三〇・三	一、三、三〇・三	一、三、三〇・三	一、三、三〇・三	一、三、三〇・三	一、三、三〇・三	一、三、三〇・三	一、三、三〇・三	一、三、三〇・三	一、三、三〇・三	一、三、三〇・三	一、三、三〇・三	一、三、三〇・三	一、三、三〇・三	一、三、三〇・三
一、三、三〇・三	一、三、三〇・三	一、三、三〇・三	一、三、三〇・三	一、三、三〇・三	一、三、三〇・三	一、三、三〇・三	一、三、三〇・三	一、三、三〇・三	一、三、三〇・三	一、三、三〇・三	一、三、三〇・三	一、三、三〇・三	一、三、三〇・三	一、三、三〇・三	一、三、三〇・三	一、三、三〇・三	一、三、三〇・三	一、三、三〇・三	一、三、三〇・三	一、三、三〇・三	一、三、三〇・三







(4) 石油山

計	別												平均					總數ニ對スル百分率																
	裂ノ			索道ノ			物ノ			他			又ハ		外ノ		走又ハ脱線		ノ切斷		ニ因リ昇降中		過		超		座ノ爆發		勢		回数	死亡	重傷	輕傷
七四・七	七四・九	四九・七	一・八	三・八	六・四	〇・三	二・三	〇・一	三三・六	〇・八	〇・三	〇・三	〇・三	〇・三	〇・三	〇・三	〇・三	〇・三	〇・三	〇・一	〇・一	〇・一	〇・一	〇・一	〇・一	〇・一	〇・一	〇・一	〇・一	〇・一				
七・三	六・五	三・六	〇・三	〇・二	〇・一	〇・一			二・五	〇・八	〇・三																							
〇・一	〇・一																																	
七・四	六・六	三・七	〇・三	〇・二	〇・一	〇・一			二・五	〇・八	〇・三																							
八・九	八・九	五・七	〇・八	〇・三	〇・三	〇・一			二七・七																									
二・四	二・四	一・二							一・一																									
八・三	八・三	五・九	〇・八	〇・四	〇・三	〇・一			二六・八																									
六・五	六・五	四・四	〇・八	〇・四	〇・三	〇・一			二〇・一																									
二・四	二・四	二・八							一・八																									
六・八	六・八	四・八	〇・八	〇・四	〇・三	〇・一			三〇・九																									
七・四	七・四	四・七	一・八	三・八	六・四	〇・三	二・三	〇・一	二六・三	〇・八	〇・三																							
七・一	七・一	二・四							二・九																									
七・〇	七・〇	五・八	一・八	三・九	六・四	〇・三	二・三	〇・一	三九・二	〇・八	〇・三																							
九九・〇	九九・〇	六六・七	〇・二	〇・二	〇・四	〇・一			三一・七	〇・二	〇・四																							
九九・〇	九九・〇	五〇・〇	二七・〇	一・五	一・五				三二・六	一〇・八	四・〇																							
九九・〇	九九・〇	六三・九	〇・九	〇・七	〇・二				三二・九																									
九九・〇	九九・〇	六七・〇	〇・三	〇・三	〇・九	〇・四	〇・四	〇・一	三二・九																									
九九・〇	九九・〇	六六・九	〇・四	〇・二	〇・八	〇・四	〇・四	〇・三	三二・四	〇・二	〇・四																							

Faded table with illegible content, likely a continuation of the statistical data.



種別	回数	死亡	重傷	輕傷	合計	回数	死亡	重傷	輕傷	合計
其他ノ非金屬山	1,017	54	0	58	112	1,017	54	0	58	112
又ハ炭塵ノ爆發	193	13	0	13	26	193	13	0	13	26
捲揚ノ超過	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鎖又ハ繩ノ切斷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
捲揚機ニ因リ昇降中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鎖索ノ切斷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
坑車逸走又ハ脱線	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
其他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
前項以外ノノ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
又ハ爆發藥ノ爲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
又ハ毒又ハ窒息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
機械	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
機械	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	1,017	54	0	58	112	1,017	54	0	58	112

(5) 其他ノ非金屬山

種別	回数	平均		均		數		回数	死亡	重傷	輕傷	合計	
		男	女	男	女	男	女						
其他ノ非金屬山	1,017	54	0	58	112	54	0	58	112	54	0	58	112
又ハ炭塵ノ爆發	193	13	0	13	26	13	0	13	26	13	0	13	26
捲揚ノ超過	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鎖又ハ繩ノ切斷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
捲揚機ニ因リ昇降中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鎖索ノ切斷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
坑車逸走又ハ脱線	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
其他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
前項以外ノノ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
又ハ爆發藥ノ爲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
又ハ毒又ハ窒息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
機械	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
機械	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	1,017	54	0	58	112	54	0	58	112	54	0	58	112

事由	年次			
	大正六年	大正七年	大正八年	大正九年
落勢	回数 三・五	回数 三・五	回数 三・五	回数 三・五
	重傷 一八	重傷 一八	重傷 一八	重傷 一八
坑車ノ	回数 一・八〇	回数 一・八〇	回数 一・八〇	回数 一・八〇
	重傷 一八	重傷 一八	重傷 一八	重傷 一八
器械ノ	回数 一・〇九	回数 一・〇九	回数 一・〇九	回数 一・〇九
	重傷 一八	重傷 一八	重傷 一八	重傷 一八
發破又ハ爆發ノ	回数 一・〇九	回数 一・〇九	回数 一・〇九	回数 一・〇九
	重傷 一八	重傷 一八	重傷 一八	重傷 一八
坑外鎖	回数 一・九八	回数 一・九八	回数 一・九八	回数 一・九八
	重傷 一八	重傷 一八	重傷 一八	重傷 一八
車又ハ	回数 一・九八	回数 一・九八	回数 一・九八	回数 一・九八
	重傷 一八	重傷 一八	重傷 一八	重傷 一八
架索	回数 一・九八	回数 一・九八	回数 一・九八	回数 一・九八
	重傷 一八	重傷 一八	重傷 一八	重傷 一八
遺ノ	回数 一・九八	回数 一・九八	回数 一・九八	回数 一・九八
	重傷 一八	重傷 一八	重傷 一八	重傷 一八

第七表 事由別中主なる傷害死傷累年比較 (自大正六年十年間) (至昭和元年十年間)

(1) 金 屬 山

事由	年次			
	大正六年	大正七年	大正八年	大正九年
落勢	回数 三・五	回数 三・五	回数 三・五	回数 三・五
	重傷 一八	重傷 一八	重傷 一八	重傷 一八
坑車ノ	回数 一・八〇	回数 一・八〇	回数 一・八〇	回数 一・八〇
	重傷 一八	重傷 一八	重傷 一八	重傷 一八
器械ノ	回数 一・〇九	回数 一・〇九	回数 一・〇九	回数 一・〇九
	重傷 一八	重傷 一八	重傷 一八	重傷 一八
發破又ハ爆發ノ	回数 一・〇九	回数 一・〇九	回数 一・〇九	回数 一・〇九
	重傷 一八	重傷 一八	重傷 一八	重傷 一八
坑外鎖	回数 一・九八	回数 一・九八	回数 一・九八	回数 一・九八
	重傷 一八	重傷 一八	重傷 一八	重傷 一八
車又ハ	回数 一・九八	回数 一・九八	回数 一・九八	回数 一・九八
	重傷 一八	重傷 一八	重傷 一八	重傷 一八
架索	回数 一・九八	回数 一・九八	回数 一・九八	回数 一・九八
	重傷 一八	重傷 一八	重傷 一八	重傷 一八
遺ノ	回数 一・九八	回数 一・九八	回数 一・九八	回数 一・九八
	重傷 一八	重傷 一八	重傷 一八	重傷 一八

電氣ノ メ	熱物ノ メ	發破又ハ 爆ノメ	瓦斯又ハ 炭塵ノ	器機ノ メ	道ノ メ	年次									
						輕傷	重傷	死亡	回数						
輕傷 死亡 回数	輕傷 死亡 回数	輕傷 死亡 回数	輕傷 死亡 回数	輕傷 死亡 回数	輕傷 死亡 回数	大正六年	大正七年	大正八年	大正九年	大正十年	大正十一年	大正十二年	大正十三年	大正十四年	昭和元年
三 二 一 一	二 一 一 一	八 六 二 一	五 四 一 一	二 一 一 一	三 二 一 一	三,七 二,九 三,八	三,三 二,八 三,四	四,一 三,九 四,零	三,九 三,八 三,九	三,八 三,七 三,七	三,七 三,六 三,六	三,六 三,五 三,五	三,五 三,四 三,四	三,四 三,三 三,三	三,三 三,二 三,二

坑外 架又ハ 索	坑車ノ メ	落 磐	事 由	年次										
				輕傷	重傷	死亡	回数							
死亡 回数	輕傷 重傷 死亡 回数	輕傷 重傷 死亡 回数	實數 對スル 割合	大正六年	大正七年	大正八年	大正九年	大正十年	大正十一年	大正十二年	大正十三年	大正十四年	昭和元年	
一 一 一	一 一 一 一 一	一 一 一 一 一	三 二 一	三,一 三,一 三,一	三,一 三,一 三,一	三,一 三,一 三,一	三,一 三,一 三,一	三,一 三,一 三,一	三,一 三,一 三,一	三,一 三,一 三,一	三,一 三,一 三,一	三,一 三,一 三,一	三,一 三,一 三,一	三,一 三,一 三,一

備考

一、本表ニ於テ總數ニ對スル割合ト稱スルハ其鐵種別鐵山ノ總災害數ニ對スル割合チ云フ  
二、本表ニ「坑車ノメ」トセルハ第六表ニ示ス「自動車道又ハ推挽車道ニ於テ坑車ノ逸走又ハ脱線」ニヨルモノヲモ合ム

(2) 石炭山

電氣ノ メ	熱物ノ メ	發破又ハ 爆ノメ	瓦斯又ハ 炭塵ノ	器機ノ メ	道ノ メ	年次									
						輕傷	重傷	死亡	回数						
輕傷 死亡 回数	輕傷 死亡 回数	輕傷 死亡 回数	輕傷 死亡 回数	輕傷 死亡 回数	輕傷 死亡 回数	大正六年	大正七年	大正八年	大正九年	大正十年	大正十一年	大正十二年	大正十三年	大正十四年	昭和元年
三 二 一 一	二 一 一 一	八 六 二 一	五 四 一 一	二 一 一 一	三 二 一 一	三,七 二,九 三,八	三,三 二,八 三,四	四,一 三,九 四,零	三,九 三,八 三,九	三,八 三,七 三,七	三,七 三,六 三,六	三,六 三,五 三,五	三,五 三,四 三,四	三,四 三,三 三,三	三,三 三,二 三,二

Table showing annual statistics from 1915 (Taisho 6) to 1926 (Shohe 1). Categories include '事故' (Accidents) and '火災' (Fires), with sub-categories for '器物' (Objects), '熱物' (Hot Objects), and '劇物' (Explosives). Data is presented in columns for '回数' (Number of Incidents), '軽傷' (Minor Injuries), '重傷' (Major Injuries), and '死亡' (Deaths), along with '実数' (Actual Numbers) and '割合' (Percentage).

(4) 其他ノ非金屬山

Table showing annual statistics from 1915 (Taisho 6) to 1926 (Shohe 1) for '其他ノ非金屬山' (Other Non-Metallic Mines). Categories include '坑外' (Outside Pit), '車架' (Vehicle Structure), '索道' (Cableway), and '熱物' (Hot Objects). Data is presented in columns for '回数' (Number of Incidents), '軽傷' (Minor Injuries), '重傷' (Major Injuries), and '死亡' (Deaths), along with '実数' (Actual Numbers) and '割合' (Percentage).

Table showing annual statistics from 1915 (Taisho 6) to 1926 (Shohe 1) for various types of accidents. Categories include '器物' (Objects), '機械' (Machinery), '落盤' (Falling Rocks), '坑車' (Pit Cars), and '爆破' (Explosions). Data is presented in columns for '回数' (Number of Incidents), '軽傷' (Minor Injuries), '重傷' (Major Injuries), and '死亡' (Deaths), along with '実数' (Actual Numbers) and '割合' (Percentage).

第八表 石炭山に於ける出炭百萬噸當り死傷率累年比較

Summary table for coal mines showing '年次' (Annual) and '出炭量' (Output) for 1922 and 1923. It includes columns for '死' (Deaths) and '重傷' (Major Injuries), with sub-columns for '数' (Number) and '率' (Rate).



年次	月	日	事項	金額	備考
昭和十一年	一月	一日	...	...	...
昭和十一年	一月	二日	...	...	...
昭和十一年	一月	三日	...	...	...
昭和十一年	一月	四日	...	...	...
昭和十一年	一月	五日	...	...	...
昭和十一年	一月	六日	...	...	...
昭和十一年	一月	七日	...	...	...
昭和十一年	一月	八日	...	...	...
昭和十一年	一月	九日	...	...	...
昭和十一年	一月	十日	...	...	...
昭和十一年	一月	十一日	...	...	...
昭和十一年	一月	十二日	...	...	...
昭和十一年	一月	十三日	...	...	...
昭和十一年	一月	十四日	...	...	...
昭和十一年	一月	十五日	...	...	...
昭和十一年	一月	十六日	...	...	...
昭和十一年	一月	十七日	...	...	...
昭和十一年	一月	十八日	...	...	...
昭和十一年	一月	十九日	...	...	...
昭和十一年	一月	二十日	...	...	...
昭和十一年	一月	二十一日	...	...	...
昭和十一年	一月	二十二日	...	...	...
昭和十一年	一月	二十三日	...	...	...
昭和十一年	一月	二十四日	...	...	...
昭和十一年	一月	二十五日	...	...	...
昭和十一年	一月	二十六日	...	...	...
昭和十一年	一月	二十七日	...	...	...
昭和十一年	一月	二十八日	...	...	...
昭和十一年	一月	二十九日	...	...	...
昭和十一年	一月	三十日	...	...	...

第九段 本邦ニ著スル國口是山ニ於テスル及信託事務七交

年次	月	日	事項	金額	備考
昭和十一年	一月	一日	...	...	...
昭和十一年	一月	二日	...	...	...
昭和十一年	一月	三日	...	...	...
昭和十一年	一月	四日	...	...	...
昭和十一年	一月	五日	...	...	...
昭和十一年	一月	六日	...	...	...
昭和十一年	一月	七日	...	...	...
昭和十一年	一月	八日	...	...	...
昭和十一年	一月	九日	...	...	...
昭和十一年	一月	十日	...	...	...
昭和十一年	一月	十一日	...	...	...
昭和十一年	一月	十二日	...	...	...
昭和十一年	一月	十三日	...	...	...
昭和十一年	一月	十四日	...	...	...
昭和十一年	一月	十五日	...	...	...
昭和十一年	一月	十六日	...	...	...
昭和十一年	一月	十七日	...	...	...
昭和十一年	一月	十八日	...	...	...
昭和十一年	一月	十九日	...	...	...
昭和十一年	一月	二十日	...	...	...
昭和十一年	一月	二十一日	...	...	...
昭和十一年	一月	二十二日	...	...	...
昭和十一年	一月	二十三日	...	...	...
昭和十一年	一月	二十四日	...	...	...
昭和十一年	一月	二十五日	...	...	...
昭和十一年	一月	二十六日	...	...	...
昭和十一年	一月	二十七日	...	...	...
昭和十一年	一月	二十八日	...	...	...
昭和十一年	一月	二十九日	...	...	...
昭和十一年	一月	三十日	...	...	...





(4) 英國石炭山に於ける事由別死亡累年比較

年次	坑内		坑外		合計
	死亡人員	死亡人員	死亡人員	死亡人員	
一九一三年	四〇〇	一、一〇〇	一、一〇〇	一、一〇〇	二、二〇〇
一九一四年	三九八	一、〇七六	一、〇七六	一、〇七六	二、〇七四
一九一五年	三九三	一、〇七二	一、〇七二	一、〇七二	二、〇六五
一九一六年	三七五	一、〇六二	一、〇六二	一、〇六二	一、九八七
一九一七年	三七六	一、〇六三	一、〇六三	一、〇六三	一、九八〇
一九一八年	七四	一、〇二六	一、〇二六	一、〇二六	一、一〇〇
一九一九年	六六	一、〇一六	一、〇一六	一、〇一六	一、〇八二
一九二〇年	五九	一、〇〇六	一、〇〇六	一、〇〇六	一、〇六五
一九二一年	五八	一、〇〇五	一、〇〇五	一、〇〇五	一、〇六三
一九二二年	五三	九九九	九九九	九九九	一、〇五二
一九二三年	五二	九九八	九九八	九九八	一、〇五〇
一九二四年	四六	九九七	九九七	九九七	一、〇四三
平均	六〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇六〇

(5) 本邦並諸外國に於ける鑛夫一人當出炭量並出炭量一萬噸當死亡人員累年比較

年次	日本		英國		佛蘭西		獨逸	
	出炭量	當出炭量一萬噸當死亡人員	出炭量	當出炭量一萬噸當死亡人員	出炭量	當出炭量一萬噸當死亡人員	出炭量	當出炭量一萬噸當死亡人員
一九一三年	三、三三三、三三三	一三三・〇	三、三三三、三三三	二五九・〇	四、〇〇〇、〇〇〇	一三三・〇	三、三三三、三三三	一三三・〇
一九一四年	三、三三三、三三三	一三三・〇	三、三三三、三三三	二五九・〇	四、〇〇〇、〇〇〇	一三三・〇	三、三三三、三三三	一三三・〇
一九一五年	三、三三三、三三三	一三三・〇	三、三三三、三三三	二五九・〇	四、〇〇〇、〇〇〇	一三三・〇	三、三三三、三三三	一三三・〇
一九一六年	三、三三三、三三三	一三三・〇	三、三三三、三三三	二五九・〇	四、〇〇〇、〇〇〇	一三三・〇	三、三三三、三三三	一三三・〇
一九一七年	三、三三三、三三三	一三三・〇	三、三三三、三三三	二五九・〇	四、〇〇〇、〇〇〇	一三三・〇	三、三三三、三三三	一三三・〇
一九一八年	三、三三三、三三三	一三三・〇	三、三三三、三三三	二五九・〇	四、〇〇〇、〇〇〇	一三三・〇	三、三三三、三三三	一三三・〇
一九一九年	三、三三三、三三三	一三三・〇	三、三三三、三三三	二五九・〇	四、〇〇〇、〇〇〇	一三三・〇	三、三三三、三三三	一三三・〇
一九二〇年	三、三三三、三三三	一三三・〇	三、三三三、三三三	二五九・〇	四、〇〇〇、〇〇〇	一三三・〇	三、三三三、三三三	一三三・〇
一九二一年	三、三三三、三三三	一三三・〇	三、三三三、三三三	二五九・〇	四、〇〇〇、〇〇〇	一三三・〇	三、三三三、三三三	一三三・〇
一九二二年	三、三三三、三三三	一三三・〇	三、三三三、三三三	二五九・〇	四、〇〇〇、〇〇〇	一三三・〇	三、三三三、三三三	一三三・〇
一九二三年	三、三三三、三三三	一三三・〇	三、三三三、三三三	二五九・〇	四、〇〇〇、〇〇〇	一三三・〇	三、三三三、三三三	一三三・〇
一九二四年	三、三三三、三三三	一三三・〇	三、三三三、三三三	二五九・〇	四、〇〇〇、〇〇〇	一三三・〇	三、三三三、三三三	一三三・〇

昭和三年五月七日印刷  
昭和三年五月十日發行

發行人

日本鑛山協會

代表者

竹永喜一

東京市京橋區木挽町九丁目  
地質調査所内

印刷者

小松善作

東京市京橋區南鍛冶町二十四番地

印刷所

小松印刷所

東京市京橋區南鍛冶町二十四番地  
電話京橋二六六六番

東京市京橋區南鍛冶町二十四番地地質調査所

区画番号	地質	地質調査所	備考
1	砂	調査済	
2	砂	調査済	
3	砂	調査済	
4	砂	調査済	
5	砂	調査済	
6	砂	調査済	
7	砂	調査済	
8	砂	調査済	
9	砂	調査済	
10	砂	調査済	
11	砂	調査済	
12	砂	調査済	
13	砂	調査済	
14	砂	調査済	
15	砂	調査済	
16	砂	調査済	
17	砂	調査済	
18	砂	調査済	
19	砂	調査済	
20	砂	調査済	
21	砂	調査済	
22	砂	調査済	
23	砂	調査済	
24	砂	調査済	
25	砂	調査済	
26	砂	調査済	
27	砂	調査済	
28	砂	調査済	
29	砂	調査済	
30	砂	調査済	
31	砂	調査済	
32	砂	調査済	
33	砂	調査済	
34	砂	調査済	
35	砂	調査済	
36	砂	調査済	
37	砂	調査済	
38	砂	調査済	
39	砂	調査済	
40	砂	調査済	
41	砂	調査済	
42	砂	調査済	
43	砂	調査済	
44	砂	調査済	
45	砂	調査済	
46	砂	調査済	
47	砂	調査済	
48	砂	調査済	
49	砂	調査済	
50	砂	調査済	
51	砂	調査済	
52	砂	調査済	
53	砂	調査済	
54	砂	調査済	
55	砂	調査済	
56	砂	調査済	
57	砂	調査済	
58	砂	調査済	
59	砂	調査済	
60	砂	調査済	
61	砂	調査済	
62	砂	調査済	
63	砂	調査済	
64	砂	調査済	
65	砂	調査済	
66	砂	調査済	
67	砂	調査済	
68	砂	調査済	
69	砂	調査済	
70	砂	調査済	
71	砂	調査済	
72	砂	調査済	
73	砂	調査済	
74	砂	調査済	
75	砂	調査済	
76	砂	調査済	
77	砂	調査済	
78	砂	調査済	
79	砂	調査済	
80	砂	調査済	
81	砂	調査済	
82	砂	調査済	
83	砂	調査済	
84	砂	調査済	
85	砂	調査済	
86	砂	調査済	
87	砂	調査済	
88	砂	調査済	
89	砂	調査済	
90	砂	調査済	
91	砂	調査済	
92	砂	調査済	
93	砂	調査済	
94	砂	調査済	
95	砂	調査済	
96	砂	調査済	
97	砂	調査済	
98	砂	調査済	
99	砂	調査済	
100	砂	調査済	

終